

鹿島ヒノキ等遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局 中信森林管理署
所在地	長野県大町市
面積	10.94 ha
設定年月日	平成2年3月31日
保護林の概要 (設定目的)	我が国のヒノキ分布の北限部のひとつとして希少な天然林であることから、混交しているクロベ（ネズコ）、ミズナラとともに遺伝資源として保存することを目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和5年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を1プロット、森林概況調査として植物相調査・定点写真撮影を実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	林相に大きな変化は確認されていないが、ツキノワグマによる保護対象種であるヒノキやクロベに対する剥皮が増加しており、ねぐらも確認されていることから縄張り主張を目的とした剥皮と推測される。直ちに立ち枯れが生じるほどの剥皮ではないものの、継続して被害を受ければ樹勢が弱り枯死する個体も生じることが懸念されるため、今後も定期的にモニタリングを継続することが重要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。